



市民の広場



〒857-8585(住所不要) 市役所秘書課広報係(☎0956-24-1111)
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp

おたよりコーナー



広報紙に対するご感想や日ごろ感じていることなど、お便りをお寄せください。

いつもたくさんのお便りをありがとうございます。

- 冬休みで帰省中に、広報させぼ1月号の特集「させぼエコツーリズム」を読んで、佐世保っていいなあって再確認しました。
- 毎月しっかり目を通して、家族に役立つ情報を収集しています。
- 毎号楽しみにしています。佐世保に近代化遺産がたくさんあるのに驚きました。

- 好きな教科が社会なので、「歴史散歩」のコーナーをいつも楽しみにしています。
- 佐世保に帰ってきてから広報させぼを毎月見えます。中でも、「歴史散歩」が大好きで、私の知らない佐世保を知ることができて楽しみです。
- 「歴史散歩」で毎月勉強させてもらっています。これからも楽しみにしています。

(広報係から)

広報させぼの人気コーナー「歴史散歩」が、今月号で第500回目を迎えました。40年以上もの長期にわたって連載されているコーナーは、ほかの自治体が発行する広報紙にはなかなかないようです。14ページでは、「歴史散歩」の歴史を振り返ります。また、2月号から有料広告の掲載を始めました。広報紙へのご感想・ご意見もどうぞお寄せください。

広報クイズ



はがきまたはEメールに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、3月23日までにお送りください。

問題の○中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書カードをプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 問題① 瀬戸越1丁目にある泉福寺洞窟からは、世界最古級の土器「○○文土器」が発掘されました。
- 問題② イノシシが住みつきそうな山際では、○○や雑木を刈り取りましょう。
- 問題③ 本市の水道は、ことし、給水開始○○○周年を迎えます。

※前回の答えは①こうもり ②キラ ③モニターでした。たくさんのご応募ありがとうございました。

祝“歴史散歩”連載500回!!

皆さんの身近なところに埋もれている小さな史跡をエピソードとともに紹介する『歴史散歩』のコーナーが、今月号で記念すべき第500回目を迎えました。

今回は、連載500回を記念して、市民の皆さんにとっても愛されている『歴史散歩』について、ご紹介します。

●「歴史散歩」の歴史を振り返る…

「歴史散歩」は、市民の皆さんに興味や親しみを持って広報紙を読んでもらおうと、昭和40年2月、当時の広報係長で郷土史家でもあった本田三郎さんが執筆し、掲載が始まりました。

昭和55年3月号(第177回)からは、筒井隆義さん(元市職員)が後を引き継ぎ、市役所退職後の現在も記事を寄せていただいています。

歴史散歩で紹介される史跡は、本田さんや筒井さんが地元の人に話を聞いたり、古文書などの史料を当たったりして、佐世保のまちに秘められた庶民史、伝承、口伝などを掘り起こした大変興味深いものばかりです。中には、失われてしまうものもあり、史跡の存在を後世に残す貴重な資料にもなっています。

昨年には、筒井さんが平成16年12月までの内容をまとめた「改訂増補版 させぼ歴史散歩」(平成17年3月発行)が第25回佐世保文学賞に選ばれました。



「歴史散歩」執筆者
筒井隆義さん

昭和55年から初代「歴史散歩」執筆者の本田三郎さんに代わって執筆を始め、現在に至る。

好奇心を持って、想像力を働かせながら歩いています

皆さんに読んでいただくことが一番嬉しいです。まちの中には、わたしたちの祖先の暮らしの息吹を感じることができるものがあり、わたしは好奇心を持って、想像力を働かせながら歩いています。「こういうことも伝えたい」という意欲をわきたたせる毎日です。これからも一回でも多く書き続けていきたいです。



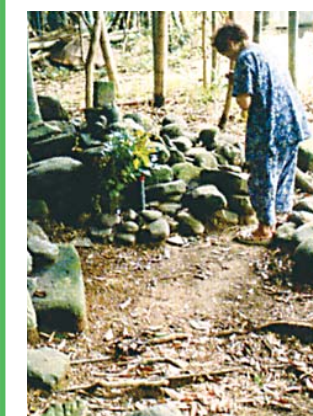
生産都市へ前進
第1回歴史散歩



第100回(昭和48年10月号)
「江永の陶祖神」(江永町)



第200回(昭和57年2月号)
「ロシア艦の鐘」(旧戸尾小)



第300回(平成2年6月号)
「口木崎と豊玉姫神社」
(針尾西町)

第400回(平成10年10月号)
「示現寺あと」(中里町)